

中小・ベンチャー企業と上場企業役員OBを結ぶ『顧問名鑑』 元SONY副会長 森尾稔氏らを総監修に迎え、 登録顧問数1000名を突破！



国内最大手のスカウト企業 レイス株式会社（東京都千代田区、社長：藤 修、以下レイス）は、東証一部、二部上場企業をはじめとする企業の役員、部長OBを中小・ベンチャー企業などに「経営顧問」として紹介するサービス『顧問名鑑』（<http://komonmeikan.jp>）において、登録顧問数1000名を超えたことをご報告致します。

『顧問』という新たな経営資源の投入で中小・ベンチャーの業績拡大を支援する

2008年のリーマンショック以降、企業を取り巻くビジネス環境は目まぐるしく変化している。2010年度上半期の倒産件数は約6000社に迫る勢いで、各企業とも経済危機を乗り切るために抜本的な経営改革の必要性に迫られている。

この度レイスのリサーチにおいて、この経済危機打開に向けて自前の経営資源にとらわれず、外部人材の経営ノウハウや人脈を有効活用したいと考えている中小・ベンチャー企業経営者が七割に達していることがわかった。

上場企業の役員OBは毎年5,000人単位で定年を迎えており、また、野村総合研究所の調べによると、シニア層のビジネスパーソンの78.2%が定年後も仕事を持ち続けたいと希望している。

そういう企業と個人のニーズを受けて、レイスではスカウト事業のノウハウを活かし上場企業の役員、部長OBといった大手企業出身のエグゼクティブが培ってきた深遠な経営ノウハウや豊富な人脈を彼らの定年とともに眠らせるのではなく、中小・ベンチャー企業の経営に活用させ、経営再生や事業拡大や組織育成等を支援するプロジェクト『顧問名鑑』を2009年2月より開始。2010年7月末時点で登録顧問数が1000名を超えた。

元SONY副会長の森尾稔氏、元トヨタ自動車副社長石坂芳男氏らが総監修に就任

「単なる名前だけの顧問とは違い、40余年のビジネスマン人生で培ってきた人脈やノウハウを後進育成に生かしたいという思いから登録をされている方がほとんど。経験業界のみならず、多くの中小・ベンチャーへ投資対効果の高いサービスを提供している」（顧問名鑑事業部責任者 堤 寛夫氏）。登録者には、元メガバンクや大手証券、商社やメーカーなどの役員陣をはじめ、商品開発部長や内部監査部長や技術部長といった高い専門性や技術を有し、日本の高度経済成長期を担ってきた人材が多数。なかでも、森尾氏や石坂氏においては総監修という形で『顧問名鑑』事業を通じて、登録者に対するセカンドビジネスライフの提案や、中小・ベンチャーの経営指南などを行なって頂いている。

「現役をリタイアした今だからこそ出来る社会貢献もたくさんある。今だからこそ自分に出来る日本経済の活性化に再チャレンジしたい（元大手メーカー役員）」という多くの声を受け、レイスは2010年度中に顧問候補者1,800名、マッチング先の中小・ベンチャー企業を現在の550社から2000社へ増やす見込みで事業を拡大していく予定。

レイス株式会社

【代表者】代表取締役 藤 修 【本社所在地】東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル1F

【会社設立】1997年10月 【資本金】2億3,022万円 【09年9月期売上】21億2,000万円

【社員数】220名（グループ連結）【URL】<http://www.race2005.jp>

詳細の問い合わせはコチラ

レイス株式会社 広報担当 E-mail：race-koho@race2005.jp 電話番号：03-5549-6460（代表）